フルブロードサイドシーズン1ストーリーボード

フルブロードサイドシーズン1にはU拘禁の時間が含まれます。あなたのための概要としてここに小さな抜粋があります...

私の新しい5人用アパートでの最初の夜の後深夜に朝食があったので私は朝の5:30に目が覚めました。誰かがパンソーセージそして利用可能なものに応じてフラットシェア全体のすべてを持ち込む必要がありました。私は朝の4時に眠りについただけでたくさんの話をしルームメイト」からもたくさん聞いていました。午後12時30分昼食と午後2時庭で1時間。その後ドアは再び閉まり午後4時30分に閉まりました。晩ごはん。午後5時ロックが来た場合別のセルを2時間「訪問することができました。もちろんロック中にドアは再びロックされました。それからそれは独房に戻ったので毎日でした。土曜日と日曜日を除いて、変更はなく午後3時30分にも夕食がありました。その後ドアは翌日まで閉じられました。そこで、私は自分のスポーツ活動について考え、毎日1〜2時間セルでトレーニングすることにしました。松shot館の空手トレーニングはかなり良かったので、私にとっては難しくありませんでした。その後50セットの腕立て伏せ50セットのヒントおよびウォームアップするためのさまざまなストレッチ運動が行われパンチとディフェンスのテクニックのスピードと精度のトレーニングが行われました。その後男の子には「質問」はまったくありませんでした。もちろん私は朝食や夕食を持ち込む必要もなく掃除もせず共有アパートのすべての行動規則をほぼ自動的に決定しました。

役員の中には「外」から私を知っていた人もいました。その中の一人ヨルクという名前のとても小さくて細身の人は私をとても気に入りました。ある夜ドアは午後7時30分に完全に異常に開きました。ヨルクは私に言った私と一緒に簡単にドアに来て私はあなたに何かを尋ねたい他の人は聞く必要はない。ドアで彼は彼らにアクセスが与えられたと私に説明したがアクセスセルにはもうスペースがなかったので彼らは私たちの家にエキストラベッドを置きたいと思った。その後アクセスは輸送のために翌朝まで一晩だけ過ごす必要があります。
12歳の少女を自転車から引き裂いて強姦したのは男だろう。私はまさにそのような人が気分が良い相手になりうるさい必要はありません。私の考えはクールなエンターテインメントただそれをもたらすだけでした。私は同意しアーウィンと呼ばれるこのネズミがやってきました。ヨルクはドアを閉めニヤニヤしていい夜の男がいる

と言った。アーウィンはその場しのぎのベッドに座って見回した。私はあなたが最高の会社のアーウィンでありまた非常にスポーティーに見えると言った。始めましょう彼は答えました実際私はそのように感じません。それは問題ではないと私は言った。選択肢は2つあります1つ目はプログラムを実行することで元気です。2番目はあなたが私とトラブルに巻き込まれ気分が悪くなり本当にしたくないということです。さてアーウィンあなたはどのオプションが欲しいですか？アーウィンは自発的に最初のオプションを選択しました。アーウィンは自転車で12歳の少女を引っ張り強姦し怪我をする児童痴漢としてあなたは良い選択をしたと言いました。100個の腕立て伏せのセットを表示しこのセットを実行します。私のルームメイトは皆熱心でアーウィンだけが少し青白かったです。私の腕立て伏せのセットは非常に迅速かつ正確でした。それはアーウィンの番であり40回の腕立て伏せの後彼は本当にあきらめたいと思った。アーウィンは続けて病気の馬のように膨らみ青に変わりました。インゴはジョージを止める必要がある彼は死にかけている私たちは911を押さなければならないと言いました。 それは...ですか？
アーウィンは倒れ息を切らしインゴは緊急電話をかけた。イェルクは本部にいて何が起こっているのかと尋ねました。インゴは子供の痴漢を気の毒に思いスポーツ中に青くなり少し喘ぎ始めました。ヨルクは言ったそれから私は救急医に電話しなければならない。残念ながら救急医は非常に早く来てこの生き物は病院に運ばれました。ヨルクは静かにジョージのクールなコミットメントを私に言った。私がいれば救急医はいりませんでしたがインゴには少し神経がありおそらく悪い薬を吸っていたと答えました。私たち二人は笑わなければならなかったそれは大丈夫だとヨルクは言ってドアを閉めた。その後私たちは何かについて話し合いインゴを除く全員が緊急電話をかけるのは間違っていると考えました。私はすでにインゴを理解できました彼は少し敏感でした。私はかつて彼の妹が女性の信じられないほどの部分を訪れているのを見ました。もちろんそのような姉妹と彼は私の完全な同情を持っています。

ドン・ラフォの著者,

George Paetsch